

Public Relations TSU

広報

津軽三味線アーティスト

対談
P 4

新春市長対談 駒田 早代さん

特集
P 6

これからの津駅

特集
P 8

津市長が選ぶ！
令和6年 市政の10大ニュース

謹
賀
新
年

表紙 手作りのしめ縄リースから、かわいい顔をのぞかせる千里ヶ丘幼稚園の園児たち。笑顔いっぱいの2025年になりますように。(12月3日)

広告掲載欄



伝えます。相続の知恵、遺言状。

相続・交通事故・離婚・借金・労働は 初回相談30分無料

..... 三重弁護士会所属 弁護士
石坂 俊雄 村田 正人 福井 正明 伊藤 誠基 森 一恵

創立50年 三重合同法律事務所 059-226-0451

〒514-0033 津市丸之内33-26 (津地方裁判所前) ホームページは、「三重合同法律事務所」で検索。

市財政収入の一部に寄与することを目的とし、表紙に広告を掲載しています。なお、掲載している広告内容については津市が保証しているものではありません。

広報津

No 454

1/1

令和7年(2025年)

新年のごあいさつ

令和7年の新春を迎えて

津市長 前葉 泰幸

謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

昨年は、元日に能登半島地震が発生、8月には日向灘の地震を起因として気象庁が初めて「南海トラフ地震臨時情報(巨大地震注意)」を発表、そして、9月には大雨によって再び能登地方に甚大な被害がもたらされたことを踏まえ、改めて津市の防災・減災体制を検証し高めるための重要な年となりました。

また、引き続き物価高騰に対しては、中小企業への事業継続支援、保育所や学校等への給食物価高騰支援など、きめ細かい支援策を展開してまいりました。

こども・子育て施策も拡充しました。昨年9月から、こどもの医療費助成は所得制限を撤廃し小中学生まで窓口無料化を拡大、県内で津市だけが実施している妊産婦医療費助成も所得制限を撤廃し窓口無料化を行うとともに自己負担額を全額助成、加えて無料の妊婦歯科健康診査も新設しました。

都市づくりも進めました。平成27年度から整備を進めてきた大谷踏切が12月に開通し、線路を隔てた東西間をつなぐ新たな交通流動が生まれました。津駅西口駅前広場の整備に向けては、送迎車やバスなどの配置案をお示しし、市民の皆様から広く意見を頂きながら改善を重ねました。大門・丸之内地区においては、津市も参画するエリアプラットフォーム「大門・丸之内 未来のまちづくり」が回遊性の向上や賑わいの創出に向けたシェアサイクルの導入実験や公園空間の活用実験などを行い、津市は土地・建物の活用についての所有者への意向確認を進めました。

令和7年は、合併後20年目の節目の年となります。

災害対応力の強化に向けては、津市災害時受援計画を大幅に改訂するとともに、津市道路啓開計画を新たに策定するなど、大規模災害時において救命・救援活動が円滑に行える体制を整えます。

物価高騰に対しては、引き続き市民の暮らしを守る施策を進めます。

津市こども計画を策定します。(仮称)津市こどもまんなか社会実現会議を設置し、こども・若者、子育て当事者の意見をこども施策の展開に生かしてまいります。

津駅周辺については、津駅西口駅前広場の整備に向けて設計に取りかかるとともに、津駅東西自由通路やバスタプロジェクトの事業化に向けて調査を進めます。大門・丸之内地区は、エリア価値を高めるための仕組みづくりに取り組んでいきます。津興橋は、上部工架設工事が完了し、いよいよ新しい橋が姿を現します。

皆様のより豊かな暮らしに向けて進化し続ける津市。その歩みを着実に進めるべく市政を推進してまいります。

本年が、皆様にとって、笑顔と希望にあふれる一年となりますことを心よりお祈り申し上げます。

津市の発展と市民福祉の増進を目指して

津市議会

新年あけましておめでとうございます。

市民の皆様におかれましては、健やかに新春をお迎えのことと、心よりお慶び申し上げます。また平素は、津市議会の活動に深いご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年パリで開催された2024オリンピック・パラリンピックでは、津市出身の選手が活躍され、市内で開催されたパブリックビューイングには多くの方が足を運び、大いに盛り上がりました。

また、津八幡宮の祭礼を起源とする伝統と歴史を有する祭りである「津まつり」や、大正時代に始まり71回目を迎えた津の夏の風物詩である「津花火大会」なども開催され、多くの方が訪れる活気あるイベントとなりました。

昨年1月1日に発生した令和6年能登半島地震では、家屋倒壊、大規模火災、停電、断水、道路寸断などの甚大な被害が発生し、数多くの方が被災されました。被災された方々には衷心よりお見舞い申し上げます。

津市においても南海トラフ地震が発生した際には、甚大な被害がもたらされると危惧されており、加えて、気候変動の影響により、局地的な大雨などによる大規模災害が発生する傾向が年々強くなっています。津市議会においては、災害に強いまちづくりのため、防災・減災体制の強化に向けて更なる取り組みを進めてまいります。

令和6年中には、本会議におきまして、約200件の議案審議を行うとともに、420件を超える一般質問を行いました。本会議や委員会の内容については、広く市民の皆様にご覧いただけるようインターネットを活用し、ライブ映像や録画映像の配信を行っており、ご自宅等でも視聴いただくことができます。スマートフォンでも視聴いただけますので、ぜひ多くの皆様にご覧いただければと思います。

また、津市議会ではタブレット端末を導入し、議会活動や政務活動の効率化を図りました。迅速な情報共有や文書などの保存管理のみならず、ペーパーレス化による脱炭素推進への取り組みに寄与することができ、議会内のDXを推進することができました。

さらに、津市の発展および市民福祉の増進を図るために津市議会基本条例を制定しました。議会、行政および住民との関係をさらに明確なものとし、市長その他の執行機関に対して監視および評価を行うとともに、市民に開かれた公正公平かつ透明性の高い議会を実現できるように、より一層の努力を重ね、取り組んでまいります。

市民の皆様にとりまして、健やかで素晴らしい年となりますことをお祈り申し上げまして、新年のごあいさつといたします。

三味線を通じて日本文化の魅力を発信

津市河芸地域出身で、日本を代表する津軽三味線奏者の駒田早代さん。卓越した技術をベースに現代的なアレンジで新しい三味線音楽を創り出し、ワールドワイドにファンを増やす一方で地元根差した活動を大切に、伝統文化の継承にも取り組んでいます。今回の市長対談では、三味線を武器にグローバルとローカルを行き来して発信する駒田さんにお話を伺いました。

市長 駒田さんは国内だけでなく海外公演もなさっていて、最近は何ルーマまで行かれたそうですね。

駒田 日本人ペルー移住125周年記念コンサートのメインステージで演奏しました。後半には現地のメンバーも加わってスペイン語でペルー民謡を歌ったりして、観客の皆さんにスタンディングオベーションで喜んでいただきました。南米の音楽はリズムが難しく、日本の民謡とは全く違います。でも現地の方が弾き始めると独特の手拍子が始まって皆さんの息がピッタリ合う。国によって染み付いたリズムが違うんだと感じ、すごく刺激的でした。

市長 文化の交流ですね。そもそも三味線という日本の古典楽器にはどのようにして出会ったのですか。

駒田 昔、ドリフターズの志村けんさんがかくし芸大会で三味線を弾く姿が母の記憶に強く残っていたらしく、私が小学校に入学し

た頃に何か習い事がしたいと相談した時に三味線はどうかと勧めてもらったのがきっかけです。

市長 高木ブーさんのウクレレではなく、志村けんさんの三味線ですか。7歳でこんなに大きな津軽三味線を弾くのは大変だったでしょうね。

駒田 子どもも大人と同じサイズを使うので、重さ3〜4kgの楽器を持つだけで必死でした。

市長 そして弾きながら歌うようになり、さらに足で叩く太鼓も。これは独自のコンビネーションですね。

駒田 世界初だと思います。朝陽中学校の吹奏楽部で、リズム感を鍛えたいと思ってドラムを担当していた時、ドラムができるなら三味線を弾きながら歌って足で太鼓もできるんじゃないかと思い、足太鼓というオリジナルの楽器を発案しました。祖父は手先が器用で、私のアイデアを伝えたらイメー

ジ通りに作ってくれたんです。

市長 その後、津高校2年生の時に日本一になられて、東京藝術大学へ。いろんな進路がある中で、三味線でいこうと決めたのはなぜですか。

駒田 受験期に周りが志望大学を目指す中、私も勉強を頑張っていました。2年生の夏の三者面談で担任の先生に「日本一にもなった津軽三味線を趣味で終わらせていいのか」と言われた時に「趣味じゃない！」って思ったんです。せっかく大学に行かせてもらえるのだから本当に学びたいことを学びなさいと言われ、じゃあ三味線だと気付かされました。そこから藝大を目指し始めたものの、情報がなくて右も左も分からない。先生方もサポートのしようがない状況でしたが、心強い応援をいただき、他の生徒が数学を勉強している時に私は音楽室で三味線を弾かせていただいたりしていました。

市長 先生方が、個人の能力を引き出そう、伸ばそうとしてくれたんですね。そして藝大に見事合格なさって、どのような学生時代でしたか。

駒田 怒涛のようでした。一人暮らしを始めて手一杯の中、月曜と水曜にレッスンがあり、曲の暗譜をしなきゃいけない。長唄という三味線音楽は1曲30分くらいあり、それを暗譜するのが一番きつかったです。家では常に長唄を流しながら生活し、聴きながら寝落ちする、聴きながら登校するという日々。一方で三味線以外に日本舞踊や琴、尺八、篠笛、笙なども学ぶことができて、他では経験できないことを勉強させてもらいました。

市長 大学卒業後はプロになり、今は指導者にもなられていますね。

駒田 稽古場は東京、三重、京都の3カ所です。それぞれ月1回、7歳から70代の方まで幅広く習いに来ていただいています。趣味としてやりたい、大会で優勝したい、プロになりたいなど目的はさまざまで、アニメがきっかけで和楽器に触れてみたいと小さい子が習いに来たりもします。それぞれがやりたいことをできるよう、目的に応じた指導をして稽古場の雰囲気を楽しくするようにしています。

市長 SNSも活用なさって、Instagramのフォロワー数は68万人！さらに投稿動画の中には1カ月で再生

回数1千万回を超えたものもあるんですね。一体何がバズったのですか。

駒田 三味線でギターのリフをカバーして弾いてみた動画を投稿したら、海外の方から「和製のギターだ!」「3本の弦でこれだけ表現できるのか!」と驚かれて。レッドホットチリペーパーズという世界的に有名なロックバンドのベースの方ご本人から、「これぞロックだ」というコメントをいただいたことがきっかけで、アメリカのフォロワーが急激に増えました。

市長 海外の方に向けてオンラインレッスンもなさっているそうですね。

駒田 昨年7月から、通訳付きで教えています。日本から楽器を取り寄せ独学でやっていたなど熱意のある方々から多数の応募をいただき、アメリカやドイツ、ジャカルタなど各国から参加するため時差も考慮して3人ずつグループ分けして指導したところ、好評でした。今年も続ける予定です。

市長 一方で、昨年10月には津まつりに出演、11月には一身田町の高田会館でコンサートもされました。いかがですか、ふるさとでの演奏は。

駒田 三味線を始めた7歳の頃から頼まれて高齢者施設での慰問活動を始めたところ、クチコミで広がり多くの施設で演奏させていただきました。その当時からお世話になっている地元の皆さんが公演を見に来てくださり、



「大きくなったね〜」と。今回のコンサートは、皆さんのおかげで藝大で勉強して、また地元貢献したいと思って帰ってきましたと、私から感謝を伝える機会になったと思います。

市長 今後の音楽活動は。

駒田 民謡を今のポップスに取り入れてアレンジすることに取り組んでいて、オリジナル曲をどんどん作っているところです。昨年9月と10月に1stシングルと1stアルバムを出させていただいたのですが、2025年も、民謡を次世代に残していくため歌い継いでいきたいです。

市長 演奏会という接点の他にも、SNSを通して、三味線や民謡ってこんなふうにも楽しめるんだということを発信しているのは素敵だと思います。これからの目標はありますか。

駒田 三味線を通じて地元貢献したい、私がこの道に進む後押しをしてくださった地元の方々に恩返ししたいという気持ちがあって、例えば伊勢木綿のような伝統産業とタッグを組んで何かできないかとか、私なりに日本の伝統文化を残し海外に発信していく役割を担っていけたらと思っています。

市長 邦楽や着物といった日本の文化、そしてふるさと津を大切にしているいただきながらのご活躍、大いなるご発展をご期待申し上げます。

伝統を残すため、私なりに貢献したい



時代にマッチした発信スタイルが素敵です

津市長
前葉 泰幸
MAEBA YASUYUKI

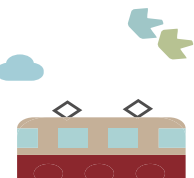
津軽三味線アーティスト
駒田 早代さん
KOMADA SAYO

1999年津市生まれ。7歳から津軽三味線、10歳から民謡を始める。津高校在学中に第9回津軽三味線日本一決定戦A級女性の部で優勝するなど、受賞多数。2022年に東京藝術大学音楽学部邦楽科を卒業。現在はプロ奏者として各地で演奏活動を行い、古典とモダンを融合させた独自の音楽性で国内外から注目を集めている。

市長対談の全編がご覧いただけます!

MAYOR'S TV SHOW

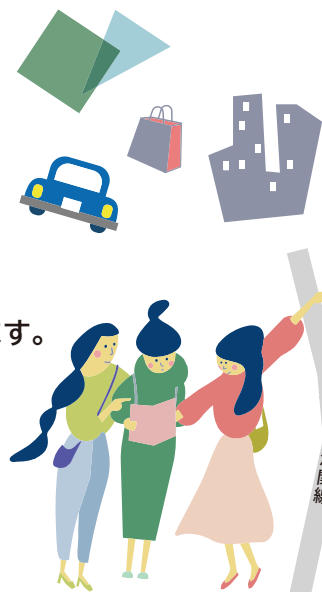
- ◆ 津市ホームページ 津市 市長対談 検索
- ◆ ケーブルテレビ行政情報番組(123ch)



これからの津駅

問い合わせ 建設政策課 ☎229-3194 FAX 229-3345

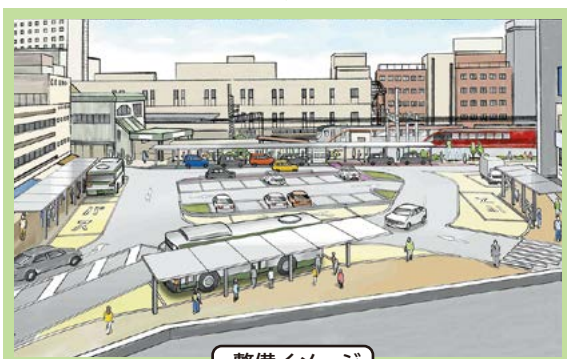
鉄道やバスが集まる交通結節点である津駅周辺の課題解消に向けて、国・県と役割分担し、連携して津駅周辺道路空間の再編に取り組んでいます。今後は、津駅周辺基盤整備の方向性を示すグランドデザインを策定し、官民連携による駅周辺の活性化につなげます。



津市 津駅西口駅前広場



現状



整備イメージ

課題

- ☑ 一般送迎車の乗降場に明確なルールがなく、一般交通と公共交通が交錯して危険
- ☑ 歩道が狭く、通勤・通学時の歩行者とバス利用者の滞留により、歩道が混雑

このように変えます！

混雑解消と危険回避のため、再整備を進めます！

- ① 中央部へ一般送迎車の乗車・待機場(16台分)を設置
- ② 駅舎近くへ降車場(4台※)を設置 ※うち1台は身体障がい者優先
- ③ 歩行者の動線に応じて歩道を拡幅(4~6mへ拡幅)

今後のスケジュール

- ▶ 令和7年3月…基本計画の策定
- ▶ 令和7年度中…詳細設計
- ▶ 令和8年度…再整備工事の着工

課題

- ☑ 鉄道利用者以外は駅舎内連絡通路の利用が不可
- ☑ 整備後49年が経過した地下道の老朽化
- ☑ 大雨や高潮・津波発生時の地下道の浸水
- ☑ 整備後56年が経過した歩道橋の老朽化による通行止め

これからのイメージ

- ① 駅東西の安全・快適な移動が可能となり、利用者等の利便性が向上
- ② 東西移動の円滑化による、新たな人の流れの創出と駅周辺地域の活性化
- ③ 地震・津波発生時に駅西側への避難経路として活用し、防災機能を強化

津市 津駅東西自由通路



地下道

現状



歩道橋(通行止め)



イメージ(奈良県大和西大寺駅)

写真：奈良市提供

津市 大谷踏切

令和6年12月28日開通

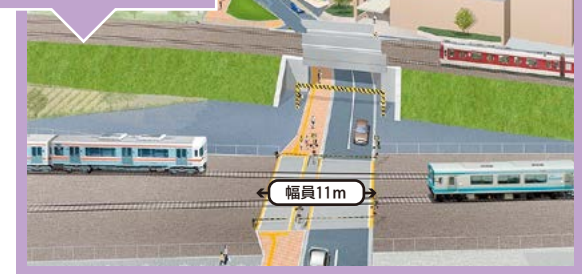
アクセスが良好になり、渋滞緩和と歩行者・自転車の安全性が向上



整備前



整備後



幅員11m

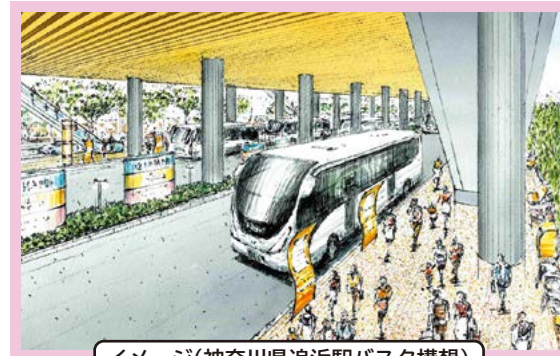
国 津駅東口駅前広場周辺バスタ構想(調査中)



現状

課題

- ☑ 高速バスや送迎バスなどの乗降場が駅周辺に点在
- ☑ 一般車とタクシーの動線が錯綜
- ☑ 送迎車による混雑
- ☑ 高潮・津波による浸水の可能性



イメージ(神奈川県追浜駅バスタ構想)

これからのイメージ

- ① 乗降場を再構築し交通結節点の機能を強化
- ② 駅前広場を立体的に活用し防災機能を強化
- ③ 民間事業者と連携し、にぎわいを創出

三重県 県道津停車場線

課題

- ☑ 県都の玄関口としてのにぎわいや魅力の不足
- ☑ 待ち合わせ場所や集合場所となる滞留空間の不足

これからのイメージ

- ① 歩道拡張によるにぎわい空間の利活用
- ② ほこみち制度※の活用による道路空間の民間利用を促進

※にぎわいのある道路空間を構築するための道路の指定制度



現状



歩道拡張後のイメージ

津市長が選ぶ!

2024

10大ニュース

令和6年

TOP 10 NEWS

POLICY

NEWS

MAYOR



1

こども基金を創設

津市モーターボート競走事業会計からの繰入金を活用し、こども基金を創設。

こども基金を財源としたこども・子育て施策

- こどもの医療費助成 (所得制限撤廃、中学生まで窓口無料) **拡充**
- 妊産婦の医療費助成 (所得制限撤廃、窓口無料、自己負担額全額助成) **拡充**
- 妊婦無料歯科健康診査 **新設**
- 1か月児無料健康診査 **新設**



4

災害時の受援体制を強化

令和6年能登半島地震の教訓を踏まえ、受援体制を強化。津市災害時受援計画の大幅修正と、津市道路啓開計画の策定へ。



令和6年度

津市

危機管理総務部

受援に重点をおいた図上訓練の様子

8

新北消防署開署

2月26日、大規模災害時に緊急消防援助隊の活動拠点となり、津波避難ビルの機能も持つ新北消防署が供用開始。



2

大谷踏切開通

踏切道拡幅工事に続いて推進していた近鉄架道橋改築工事が完了し、12月28日全線開通。



大谷踏切(令和6年11月29日時点)

5

耕作放棄地を作らない 津市独自の農家への支援策を始動

既存の農業振興施策に加え、農地の大区画化や担い手確保、獣害対策などに対する営農継続支援策を創設・拡充。

農地区画大規模化支援事業補助金を活用した畦畔除去の例



9

安東コミュニティセンター開設

7月16日、安東幼稚園の旧園舎を活用した安東コミュニティセンターが供用開始。みえ森と緑の県民税交付金を活用し、内装に県産材を利用。



3

パリ2024オリンピック・パラリンピック 津市出身選手活躍

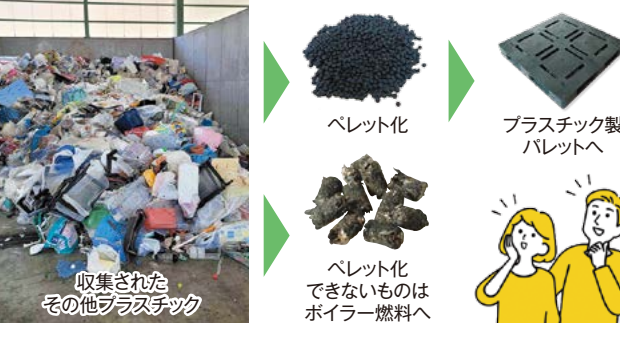
杉野正堯選手(東観中学校出身)の体操男子団体金メダル獲得をはじめ、津市出身の選手が活躍!

 杉野 正堯 選手 - 体操男子団体金メダル - 種目別あん馬6位入賞 - 種目別鉄棒7位入賞	 戸上 隼輔 選手 卓球男子団体4位入賞	 岡村 真 選手 体操女子団体8位入賞	 前川 楓 選手 パラ陸上競技女子走り幅跳び(T63)6位入賞
---	--	---	---

6

「その他プラスチック」の再商品化を開始 分別収集見込み量全国1位

「その他プラスチック」1,470tを再商品化し、CO₂排出量を74.7%削減!



10

エリアプラットフォーム「大門・丸之内 未来のまちづくり」～シェアサイクル導入実験や公園空間の活用実験を実施～

シェアサイクルの導入実験、公園空間活用実験「ふらっと大門・丸之内@お城前公園」などを実施するとともに、公式ホームページを開設。



エリアプラットフォーム公式ホームページ



お知らせ

110番の適切な利用を

1月10日は110番の日

110番は事件・事故の緊急通報専用電話です。相談や問い合わせなどで使用すると、緊急通報への対応が遅くなる可能性があります。緊急時以外の通報・相談は、管轄の警察署や警察安全相談電話(☎#9110、平日9時～17時)をご利用ください。

問津警察署地域課(☎213-0110)

ハローワーク津 人材確保コーナー

人材確保コーナーでは、介護、看護、保育、建設、運輸、警備の仕事希望する人のマッチングを支援しており、専門の職員が相談に対応しています。資格取得に向けた相談や、面接会・セミナーなども実施していますので、ぜひご利用ください。

問津公共職業安定所(☎228-9161)

イベント

令和7年三重県警察年頭視閲式

日 1月22日(水)10時～12時 場 メッセウイングNHW(メッセウイング・みえ)屋内展示場、南側駐車場 内警察本部長による部隊視閲や各種部隊の行進などの式典、音楽隊ミニコンサート、白バイの走行や警察車両の展示など ※式典は入場制限や雨天中止の場合あり 問同警察本部警務課(☎222-0110)

三重県退職教職員互助会津北地区第38回生涯学習展

日 1月22日(水)13時～16時、23日(木)9時～16時、24日(金)9時～14時 場津リージョンプラザ3階生活文化情報センター(展示室)

内日本画、洋画、彫塑・美術工芸、写真、書道、手芸などの展示 問同地区担当(☎237-0874)

地域研究フォーラムin津

三重大学大学院人文社会科学研究所の学生による津市をフィールドとした研究の成果報告会を行います。

日 1月25日(土)13時～16時 場同大学人文学部3階大講義室(栗真町屋町) 定先150人

問三重の文化と社会研究センター(☎231-9170)

死刑廃止を考える日2024

～名張毒ぶどう酒事件を通して死刑廃止を考える～

日 1月25日(土)13時30分～ 場三重弁護士会館(丸之内養正町)

内映画「いもうとの時間」の上映、鈴木泉さん(名張事件弁護団長)による報告

問三重弁護士会事務局(☎228-2232)

募集

津市青少年野外活動センター

令和7年度分の宿泊受け付け

日 1月15日(水)9時30分～ ※8時30分～9時15分に整理券を配布 場同センター(神戸) 内宿泊日数・人数などを考慮し、可能な限り希望に沿えるよう調整(抽選になる場合あり)、以降は先着順 ※日帰り利用の4月分は1月20日(月)から、5月分以降は3カ月前から受け付け 対青少年団体

問同センター(☎228-4025)

煎茶席体験とお茶教室

日本茶について学んだり、飲み比べたりしてみませんか。

日 1月25日(土)①10時30分～12時 ②13時30分～15時 場男女共同参画センター別棟茶室「和庵」(県総合文化センター内) 定先各10人 費2,000円

申 1月12日(日)までに、電話またはファクス、EメールでNPO法人日本cha茶ちゃ松本(☎090-1986-5313、FAX0598-32-2753、✉chacho@ma.mctv.ne.jp)へ ※同法人ホームページからも申し込み可

高校に入学しませんか

令和7年度入学者選抜(特別選抜)

みえ夢学園高校は、午前・午後・夜間の3部制・単位制の定時制高校で、自分のライフスタイルに合わせた時間で学習することができます。受検方法など詳しくはお問い合わせください。

日受検日…2月4日(火)、Web出願受け付け期限…1月15日(水)17時 対中学校既卒者

問同校(☎226-6257)



県営住宅1月定期募集

単身世帯でも入居できるようになりました。

申 1月7日(火)～31日(金)に三重県各建設事務所または県営住宅指定管理者の事務所にある申込用紙に必要事項を記入し、郵送で各指定管理者へ ※消印有効

県営住宅の所在地	指定管理者
北勢ブロック 桑名市、川越町、四日市市、鈴鹿市、亀山市	鈴鹿亀山不動産事業協同組合(〒510-0253 鈴鹿市寺家町1085-1、☎059-373-6802)
中勢伊賀ブロック 津市、伊賀市、名張市	伊賀南部不動産事業協同組合(〒514-0008 津市上浜町一丁目5-1 エトアール津102、☎221-6171)
南勢・東紀州ブロック 松阪市、伊勢市、尾鷲市、熊野市、御浜町	三重県南勢地区管理事業共同体(〒514-0008 津市上浜町一丁目5-1 エトアール津102、☎222-6400)

※詳しくは各指定管理者へお問い合わせいただくか、県ホームページをご覧ください。

令和7年度

大阪高校通信制課程生徒

日学校説明会…2月2日(日)14時～15時30分 ※1月6日(月)～31日(金)に電話で予約 検査日…3月10日(月) 場同校 ※願書書類など、詳しくはお問い合わせください。

問同校通信制課程入試窓口(☎0598-30-5300)

健康

認知症の人と家族の会 津地区つどい

認知症の人や家族介護者、専門職等が集まり、介護の悩み解決に向けて意見や情報を交換します。

日1月11日(土)10時～12時 場新町会館研修室1 対認知症の人や家族介護者 定30人

申同会三重県支部河戸(☎090-2276-7765)へ



健康講演会

日2月2日(日)9時30分～11時40分 場久居総合福祉会館3階レクリエーションホール 内荒深裕規さん(日本福祉大学社会福祉総合研修センターコーディネーター)による講演会「コグニサイズを楽しもう」 費300円 ※動きやすい服装で、飲み物を持参 申1月6日(月)～20日(月)に申込用紙に必要事項を記入し、直接窓口または郵送、メールで津市スポーツ・レクリエーション協会(久居体育館内、〒514-1113 久居野村町877-1、☒tsu.sporec@gmail.com)へ

三重県医師会 健康教育講演会 日2月6日(木)14時～16時 場三重県医師会館(桜橋二丁目) 内①服部博司さん(服部医院院長)による講演「メタボをふっとばせ!!」 ②飯田恵利さん(遠山病院栄養科主任)による講演「生活習慣病予防のための食事」 ③大澤裕美さん(一般社団法人元気づくり大学副学長)による講演「元気づくり体験：元気でいるための大事な身体づくり～筋力知って取り組む『3種の神技』～」 ※講演会の前後に管理栄養士による栄養相談を実施 定先80人 申同医師会事務局(☎228-3822)へ

三重県医師会 健康教育講演会

日2月6日(木)14時～16時 場三重県医師会館(桜橋二丁目) 内①服部博司さん(服部医院院長)による講演「メタボをふっとばせ!!」 ②飯田恵利さん(遠山病院栄養科主任)による講演「生活習慣病予防のための食事」 ③大澤裕美さん(一般社団法人元気づくり大学副学長)による講演「元気づくり体験：元気でいるための大事な身体づくり～筋力知って取り組む『3種の神技』～」 ※講演会の前後に管理栄養士による栄養相談を実施 定先80人 申同医師会事務局(☎228-3822)へ



無料相談

司法書士による相談会

日1月22日(水)13時30分～16時

30分 場市本庁舎 内相続(相続税を除く)、登記、金銭問題など 定先8人 申1月7日(火)から地域連携課(☎229-3105)へ

社労士による労働相談(要予約)

日毎週水曜日13時～16時(祝・休日、年末年始を除く) 場三重県社会保険労務士会館(島崎町) 内解雇、賃金、職場でのハラスメント、人事、配置転換、労働契約などの相談 申同会総合労働相談所(☎228-6064)へ



犯罪被害者相談

日毎週月～金曜日10時～16時 ※祝・休日、年末年始を除く 場みえ犯罪被害者総合支援センター(栄町一丁目) 内犯罪の被害に遭った人や家族の相談 ※電話相談や法律相談(予約制)などもあります。 問同センター(☎221-7830)

カウンセラー相談(面談・電話)

とき(毎月)	内容
毎週火曜日13時～18時 ※第5火曜日除く	夫婦・親子の 関係、生き方 の問題など
第3金曜日17時～19時	

※祝・休日、年末年始を除く

対市内に在住の人

申男女共同参画室(☎229-3103)へ

スポーツ通信

対市内に在住・在勤・在学の人

申①…競技団体へ、②…津市ス

津市民スポーツ教室

	種 目	と き	と ころ	対 象	定員(先着)	申込期間
①	合気道	1月26日(日) 10:00～11:30	NHW三重武道館(三重武道館) 柔剣道場	小学4年生以上	50人	1月6日(月)～ 20日(月)
②	スポーツウエルネス 吹矢	2月16日(日) 午前…10:00～11:30 午後…13:30～15:00	日硝ハイウエアアリーナ (サオアリーナ) サブアリーナ	小学4年生以上 午前…初心者と経験者 午後…経験者	50人	1月6日(月)～ 31日(金)

ポーツ協会(メッセウイングNH W(メッセウイング・みえ)1階)などにある申込用紙(同協会ホームページからもダウンロード可)を同協会へ ※競技団体の申込先・

方法など詳しくは、同協会にお問い合わせいただくか、同協会ホームページをご覧ください。

問同協会(☎273-5522)

津駅の新しい姿に向けて

津市長 前葉 泰幸



■津駅北・大谷踏切の開通

昨年12月28日、大谷踏切の拡幅工事が完成し、4年ぶりに開通の運びとなりました。

乗用車1台しか通行できなかった幅員2.5mの踏切を4倍超の11mに広げ、対面2車線に加え幅員3mの歩道も新設し、近鉄と主要地方道津関線の間には歩行者自転車専用のスロープを設けました。桁下2.4mの高さ制限がネックとなっていた近鉄架道橋は、高規格の救急車が通行可能な高さ3.2mを確保しました。

歩行者の安全確保と車両のスムーズな通行が実現し、津駅北側における東西連絡機能が強化されました。

■西口ロータリー改変

津駅西口駅前広場の改変構想も具体化してきました。令和5年9月、「津駅西口駅前広場エリアマネジメント会議」を設立し、交通事業者、交通規制当局としての三重県警察、道路管理者である津市、地元自治会、沿道ビルのオーナー、行政(国、県)が協議を重ね、バス、タクシー乗り場や荷捌き車両の停車スペース、進入ルートなどを調整することによりロータリー内の配置および動線を最適化し、安全性と利便性の確保を図る方針を決定しました。

今年度、レイアウトの検討を進めるに当たっては、国土交通省国土政策局の「官民連携による地域活性化のための基盤整備推進支援事業」に選ばれた全国9事業の一つとして国から調査費の交付を受けたことで、より詳細な検討を加えることが可能になりました。

■市民生活に大きく関わる西口周辺道路

朝夕のラッシュ時、西口ロータリーは公共交通と送迎のための自家用車が交錯し、駅から伸びる歩道は電車利用の通勤通学客に加え、駅を東西にまたいで通学する学童たちで混雑します。

そこで、ご利用になる方々のお考えを広く伺おうと、令和6年5月、配置計画案とイメージパースを作成し意見を募集したところ、6月までに389件のご意見が寄せられました。

修正を加え、エリアマネジメント会議を経て9月に公表したVer.2には136件、11月のVer.3に対しては93件のご意見を頂きました。

■駅利用者から寄せられたお声をかたちに

西口駅前広場を日常的に利用される方々の気付きやアイデアを繰り返しお伺いしたことにより、当初の構想は利用者の視点に沿って大きく変更が加えられました。

公共交通については、津駅西スクランブル交差点近くの路上から発車し渋滞の一因となっている津西高校行きの直通路線バスを、ロータリー内の南側に新設する乗り場に移し、乗車待ちの高校生の行列が

歩道を塞ぐことのないようにします。

さらに、このスペースを企業や学校の送迎バスと観光バスの乗り場としても活用することにより、これまでのようにロータリー中央部に停車中の送迎バスに乗り込もうとして道路を横切る危険性をなくし、歩道から安全に乗車できるように配置を整えます。

一般車については、パーキングロット周辺で送迎車が交錯する無秩序で危険な現状を改め、駅に上がるエスカレーター近くに降車専用の停車場を設けるとともに、ロータリー中央部の築山を撤去して迎いの自家用車が短時間待機できるスペースを設置します。

朝夕の通勤通学時間帯に歩行者があふれる3.5～4mの歩道は、4～6mに拡幅し、小さな子どもたちも安全に通行できるようにします。

他に休憩や待ち合わせができる場所、分煙施設を設けるなど、ご意見を踏まえて改訂を重ね、12月23日にVer.4を公表しました。1月10日までご意見を募集しております。

■西口駅前広場は3年以内の完成を目標に

今年度の調査では、津駅周辺基盤整備の方向性(ビジョン)を示すこととなりますが、そのうち西口ロータリーの再編については、配置計画案の度重なる改訂に伴い、新しい姿が次第に固まってきました。事業費は概算で3億円ほどに上る見込みであり、都市交通戦略の再編整備事業として事業採択が受けられるよう国土交通省都市局に要望を重ねているところです。来年度、実施設計を行い、駅利用者への影響を極力抑えつつ、3年以内の完成を目指します。

■東西自由通路の検討に着手

今回策定するビジョンには、西口駅前広場の他に、西口周辺の駐輪場の整備と東西自由通路についても、事業イメージを盛り込むべく作業を進めています。中でも東西自由通路については、津駅の構造を新しい形に変えていく大きな事業となり、さまざまな観点から掘り下げた議論が必要です。西口同様に、そのたたき台を示し、鉄道事業者はもちろん、駅利用者や駅周辺の事業者など多くの方々のお考えを伺っていくこととなります。

■東口バスタプロジェクトへの期待

現在の姿となって半世紀が経過した津駅周辺の道路空間が新しい交通拠点として再構築されると市民の関心を集めているのが、駅東口のバスタ構想です。

国は、現在全国23カ所で鉄道やバス、タクシーなど、多様な交通モードがつながる集約型の公共交通ターミナルを官民連携で整備するプロジェクトを展開しています。津駅東口もその一つとして、国土交通省道路局において必要性の調査が進められているところで、整備方針調査、事業計画調査へとステップアップしながら事業化へと近づけます。

バスタ建設を機に、県も駅東口から東に向かう県道津停車場線を再整備し、歩行者空間を拡張して賑わいを創出する計画を進めています。

年間663万人の乗降客を数える津駅周辺地区が県都の玄関口にふさわしい姿となるよう、国、県、市が連携して、利便性が高く活力あるエリアづくりに取り組んでまいります。